

要件を”曖昧なまま進めない力”強化

SE・技術系の職場では、「曖昧な要件」「不明確な指示」「認識のズレ」がプロジェクト遅延の主要な原因となります。

本研修では、こうした“曖昧さ”を曖昧なまま受け取らず、整理し、確認し、合意を形成するための思考と対話スキルを習得します。



実際の場面を想定したケース演習やロールプレイを豊富に取り入れ、受講当日から使える具体的な技法を身につけます。中堅層に求められる「構造化」「質問力」「説明力」を1日で集中的に強化するプログラムです。

さらに、曖昧さに振り回されない“主体的な仕事の進め方”を確立し、チーム内外のコミュニケーションの質を高めることを目指します。

コース詳細	
研修講座コード	PS023
受講料	¥38,500
開催予定	1日間（6.5時間） 2026-09-30(水)
開講時間	9:30～17:00（昼食休憩：12:00-13:00）
前提知識	特になし
対象者	<ul style="list-style-type: none">・中堅社員（入社5～8年目程度）・主任・チーフクラスで、担当業務の責任が広がりつつある方・プロジェクトの中で、顧客・上司・後輩など複数の関係者と調整する機会が増えてきた方・業務上の「曖昧さ」や「齟齬」がストレスになっている方・今以上に成長し、生き生きと働きたいと考えている中堅社員の方
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・曖昧な依頼・要望・指示を整理し、必要な情報を正確に引き出せるようになる・認識ズレや手戻りを未然に防ぐ質問力と合意形成力が上がり、業務の確実性が向上する・顧客・上司・チームに対して、論理的で分かりやすく説明できるようになり、仕事を前に進める主体性が発揮できる
講師	株式会社ワークライフスポーツ 八木 良紀
備考	
研修内容	セッション①：曖昧な要件を整理する力を高める → 問題点を構造的に把握する力を養う ※小講義＋ケース演習＋共有 セッション②：必要な情報を引き出す質問力を磨く → 抜け漏れを防ぐ質問の組み立てを学ぶ ※小講義＋演習（質問づくり）＋共有 セッション③：認識ズレを防ぐ合意形成力を身につける → 意図・期待を明確化し共有する技法を習得 ※小講義＋ケース演習＋共有 セッション④：相手に伝わる説明力を強化する → 論理的に整理し伝える表現力を鍛える ※小講義＋説明トレーニング＋総合ロールプレイ＋共有 ※進捗状況により変更となる場合があります。

お問い合わせ先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課

営業時間: 平日 9:00~17:00

お問合せ: <https://www.deos.co.jp/contact>

電話: (011) 816-9700